性フェロモン剤を組み入れたキャベツの コナガ防除体系について

西脇謙二・山下重樹・星野幸量・山口章吉

(愛知県病害虫防除所)

愛知県東三河地域は、キャベツ等のアブラナ科野菜が約 5,000 ha と集団的に栽培されており、コナガ等の害虫に対して防除暦に基づく防除指導を行っている。筆者らは、性フェロモン剤（商品名：コナガコン）を組み入れた防除体系を確立するため、1990 年に農業節減回数の検討を行ったので、その結果を報告する。

試験方法

試験場所：豊橋市老津町内キャベツほ場。コナガは 10 月から多発した。試験区：コナガコン設置区域 (23 ha) 内に、2 回節減区 (防除暦から 2 回節減)、3 回節減区、6 回節減区、コナガコン非設置区域に慣行防除

区 (防除暦のとおり)。防除方法：定植時にベンフラカルブ粒剤 6 kg/10 a、9 月 14 日にコナガコン 100 m/10 a を処理した。その後は、第 1 表の薬剤を肩掛式噴霧器で十分量散布した。調査方法：コナガコン設置区域及び非設置区域のフェロモントラップによる成虫誘殺数及び各区の 30 株当たりコナガ個体数を 12 月 20 日まで 1 週間毎に調査した。

結果及び考察

フェロモントラップによるコナガ成虫誘殺数の推移 (第 1 図) をみると、コナガコン非設置区域では、定植直後の誘殺数は少なかったものの、その後増加し、11 月 15 日には 104 頭とピークに達した。これに対し、

第 1 表 各試験区の薬剤^{a)}

処理日	薬剤名	希釈倍数	2 回 節減区	3 回 節減区	6 回 節減区	慣 行 防除区
9 月 17 日	トラロメトリン F	2,000 倍	○	○	○	
9 月 22 日	アセフェート WP	1,000	○	○	○	
9 月 27 日	シベルメトリン WP BT WP	1,000 1,000	○	○ ○	○ ○	○
10 月 4 日	PAP EC BT WP テフルベンズロン EC	1,000 1,000 2,000	○ ○		○	○ ○
10 月 11 日	プロチオホス EC	1,000	○			○
10 月 18 日	カルタップ SP クロルフルアズロン EC カルタップ・ピラクロホス WP	1,000 2,000 1,000	○ ○	○		○ ○
10 月 25 日	サリチオン EC NAC WP	1,000 1,000				○ ○
11 月 1 日	PAP EC BT WP	1,000 1,000	○ ○	○ ○		○ ○
11 月 8 日	フェンパレレート・マラソン WP	1,000				○
11 月 15 日	カルタップ SP	1,000	○	○		○

^{a)} 2回,3回,6回節減区：9月5日定植 Y R 錦秋強力152号
慣行防除区：9月23日定植 冬どり4号

Kenji NISHIWAKI, Shigeki YAMASHITA, Yukikazu HOSHINO and Shoukichi YAMAGUCHI (Aichi Pref. Pl. Prot. Office): Systematic control of diamondback moth on cabbage by using synthetic sex pheromone.

コナガコン設置区域では、約3か月の設置期間中、誘殺数は少なく、成虫の交信攪乱効果が持続した。

コナガ個体数(第2表)は、慣行防除区、2回節減区及び3回節減区のいずれも低く推移し、良好な防除効果が得られた。これに対し、6回節減区は、10月下旬までは低密度で推移したものの、その後増加し、十分な防除効果は上がらなかった。

平野ら¹⁾は、コナガコンを大規模に設置した場合の

農薬節減可能回数は1回程度と報告しているが、今回の試験で、生育後半の3回を節減する防除体系が有効なことから、3回節減防除体系を当地域のコナガコンを組み入れた防除暦のモデルとしたい。

参考文献

- 1) 平野忠美・都築 仁・西脇謙二(1990) 関西病虫研報 32:83.

第1図 フェロモントラップによるコナガ成虫誘殺数の推移 (1990年 豊橋市)

第2表 コナガ個体数の推移 (豊橋市 1990年)^{a)}

試験区	9/17	22	27	10/4	11	18	25	11/1	8	15	22	29	12/6	13	20
2回節減区	0	0.3	0	0	0	0	0.3	0.3	0.3	0	0	0.7	1.7	0	0.7
3回節減区	1.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0	0
6回節減区	-	-	-	-	0	0	0	1.0	7.0	9.0	11.0	28.0	6.0	18.0	11.0
慣行防除区	-	-	0	0	0	0	0	0.7	0.3	0	0	0.3	0	0.3	0.7

^{a)} 数字は10株当り幼虫・蛹数の合計値